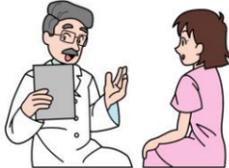


この予定表は一般的・標準的な治療の経過を一覧表にしたものです。患者様の状態により多少変わることがあります。

年 月 日

項目	時間枠 月 日 (手術前日)	手術日 月 日	
		手術前	手術後
患者目標	手術に向けて、体の準備、心の準備ができる。 手術後に必要な物品の準備ができる (T字帯1~2枚、腹帯1~2枚、フラット紙オムツ2~3枚、薬のみ又はストロー、バスタオル1枚)。 手術後の経過が理解でき、不明点があれば医療者に質問し、解決できる。	手術に向けて、体の準備、心の準備ができる。 食べたり飲んだり出来ないことが守れる。	手術後に必要な処置を受け入れることができる。 管の違和感、痛み、吐き気や頭痛などの症状出現した時、医療者に伝えることができる。 手術後の禁止事項 (指示があるまで歩行できないこと、尿の管は医師の指示があるまで抜去できないこと) などが守れる。 安静制限を守ることができる。
治療処置	夕食後か寝る前に、下剤を飲みます。	手術室は3階です。 手術は、 番目です。一番目の方は、8時頃に手術室へ行きます。 二番目以降の方は、連絡が来てから手術室へ行きます。 朝、浣腸を行います。 	術後、点滴、酸素マスク、ドレーン、尿の管、痛み止めの管があります。心電図モニターを装着し、足元にはフットポンプがつきます。 手術後は、歩行を開始するまで、肺塞栓予防のストッキングは着用したままです。 痛みがあるときは痛み止めを使いますので、お知らせください。
検査	適宜、採血、レントゲンなどの検査があります。検査があれば、随時お知らせします。		手術後に採血があります。
患者様及びご家族への説明	主治医や看護師が入院後の予定や手術の追加説明について説明します。 手術を担当する麻酔科医、手術室看護師が、手術中の事について病室で説明します。 	ご家族は、手術開始30分前には、直接病棟へおこしてください。 手術中ご家族は、7階のデイルームまたはお部屋でお待ちいただけます。	ご不明な点がありましたら、遠慮なくお尋ねください。 入室の際は、部屋の前で手指消毒をおねがいします。 
検温	入院時に検温 (熱、脈拍、血圧測定) をします。 	朝、浣腸前に検温をします。	手術後は適宜、検温をします。 
安静度 (活動)	特に制限はありません。	特に制限はありません。	手術後医師の指示があるまで、ベッド上で安静に過ごします。 用件時は、ナースコールを押してください。 
排泄	特に制限はありません。 便秘症の方はお知らせください。	朝、浣腸をします。排便後は便を流さずに、トイレに備え付けてあるオレンジ色のナースコールで看護師を呼んでください。	尿の管は入れたままです。 便意がある時は、看護師にお知らせください。 歩行することができないので、ベッドの上で排泄することになります。 
食事	食事はお部屋にご用意します。 夕食以降の飲食は、医師の指示に従いましょう。	朝から食べたり、飲んだりはできません。 	朝から食べたり、飲んだりはできません。 
清潔	入浴またはシャワーに入り、髪を洗いましょう。 爪が伸びている場合は、切りましょう。 	手術前、特に制限はありません。(洗顔や歯磨き可) 	入浴・洗髪はできません。 うがいはできますが、水分は摂ることができないので絶対に飲まないでください。 
薬剤	入院の際、内容確認のため普段飲んでいるお薬 (医師から処方された薬) を、一度預かります。 続けて飲む場合は、説明します。 	手術前の薬は、医師の指示に従いましょう。 手術前に腕から点滴をします。 (朝一番の手術の場合、手術室で点滴します。)	内服薬があるときは、看護師がお持ちします。 
手続きその他	診断書などの書類の申請がある場合は、外来棟の支払い窓口で書類と一緒に提出しましょう。 (書類にはお名前、生年月日を事前にお書きください) 手術の同意書は記入でき次第、看護師にお渡し下さい。 	時計、コンタクト、指輪、入れ歯などつけているものをすべて取り外して手術衣に着替えます。 肺塞栓予防のストッキングをはきます。 (手術衣、肺塞栓予防のストッキングは病院で用意します) 	創部痛、吐き気、頭痛がありましたら、お知らせください。 手術当日は、肺塞栓予防のストッキングは着用したままです。 

入院から退院までの流れ (No.2)

病名：

術式：腎部分切除術

この予定表は一般的・標準的な治療の経過を一覧表にしたものです。患者様の状態により多少変わることがあります。

年 月 日

時間枠 項目	手術後 日 月 日～退院まで	退院後から再診日までの注意事項
患者 目標	手術後必要な処置を受け入れることができる。 創痛、頭痛などの症状が出現した時、医療者に伝えることができる。 退院後の日常生活注意事項、外来受診の必要性が理解できる。	退院後、異常があるときは、早めに連絡し受診することができる。
治療 処置	診察を行います。 必要時、傷の消毒を行います。約1週間後に抜糸をします。 痛みがあるときは痛み止めを使います。	<感染予防> 傷はシャワーの時にきれいに流し、きちんと水気は拭き取りましょう。 傷が赤く腫れる時や、38℃以上の発熱が続く場合には連絡して下さい。
検 査	適宜、採血などの検査があります。	<食事・嗜好品>
患者様 及び ご家族へ の説明	診察時に経過についてお話しします。 (主治医)	食事の制限はありません。 お酒は次回来院時まで控えましょう。 便秘にならないように食生活に注意しましょう。
検 温	適宜、検温をします。	<活動>
安静度 (活動)	医師の指示により、歩行開始になります。歩行後、異常がなかったら、肺塞栓予防のストッキングは脱ぎます。 手術後最初に歩く時は、看護師と一緒に歩きます。その後ふらつき、気分不快などなければ、一人で歩けます。 ドレーン、尿の管、点滴が入っているときは、歩く時に引っ張らないように気をつけましょう。	腹に力が入らないかの動作は1ヶ月はやめましょう ・重い荷物の持ち運び ・激しい運動 ・無理な階段の昇り降り ・便秘による力む動作 医師の指示があるまで入浴は控えましょう。
排 泄	手術してから2日目以降に、歩けるようになってから尿の管を抜きます。 尿の管を抜いて4時間経っても尿が出ない時にはすぐに教えてください。 	<内服> 処方された薬は、飲み忘れのないようにしましょう。
食 事	医師の指示が出てから、食事をお部屋にご用意します。	<受診>
清 潔	点滴やドレーン、尿の管が抜けた後は、シャワーに入れます。 	再診日は必ず受診してください。 帰宅後、初回再診日の変更を希望される場合は、総合予約室まで連絡ください。
薬 剤	医師の指示で、内服を開始します。指示があるまで点滴は続けます。	退院後初回再診日まで、ご不明、ご不安なことがありましたら、下記連絡先に、お電話をください。
手続き その他	尿が出ないときはすぐに教えてください。 肺塞栓予防のストッキングは脱ぐ際は看護師からお知らせします。 入院費は退院日に精算となります。前もって金額が知りたい方は看護師または事務員にお知らせ下さい。	宮崎大学医学部附属病院 泌尿器科外来 0985-85-9317 泌尿器科病棟 0985-85-1898 総合予約室 0985-85-1225 ※時間外(17:00～翌朝9:00)は病棟に電話をおかけください